


『ブロークバック・マウンテン』		執筆：清水 純子
原題 <i>Brokeback Mountain</i> 2005 年		
制作国	アメリカ	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	スタッフ：監督：アン・リー/ 脚本：ラリー・マクマートリー、ダイアナ・オサナ/ 製作：ダイアナ・オサナ、ジェームズ・シェイマス/ キャスト：イニス・デル・マー：ヒース・レジャー/ ジャック・ツイスト：ジェイク・ギレンホール/ ラリーン・ニューサム：アン・ハサウェイ/ アルマ・ビアーズ：ミシェル・ウィリアムズ/	
画像		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	134 分	
ストーリー	<p>美しいワイオミングの山々を背に羊番をする若い二人のカウボーイのジャックとイニスは、友情の域を超えた男同士の愛に目覚める。それぞれ妻子を得た後も二人の純愛は変わらなかった。ジャックは牧場を共同経営して共に住もうと提案するが、狭い田舎町で世間の目を恐れるイニスは踏み切れなかった。妻に気付かれて離婚したイニスは煮え切れないまま 20 年の歳月を送るが、ジャックが突然死んだことを知る。ジャックが遺灰を一番好きな場所ブロークバック・マウンテンに撒いてと希望していたことを知ったイニスは、ジャックの残した山の絵葉書と形見のジャケットに向かって「これからはずっと一緒だ」と誓う。</p>	
時代設定	1963 年からその後 20 年間	
場所	ワイオミング州	
社会背景	1964 年の公民権法制以前の保守的な西部において男性の同性愛は偏見と差別の的であった。ゲイの男性はリンチされて死に至ることもあったので性的嗜好をカミング・アウトできなかった。	

文化的背景	カウンター・カルチャー（体制的な文化に対抗する文化）の一環をなすゲイ解放運動は 1960 年代に始まったが、1965 年にニューヨークで同性愛行為を刑事犯罪法とする「ソドミー法」が制定され、ゲイに対する差別と偏見を助長していた。1969 年ニューヨークの「ストーンウォール事件」（警察のゲイバーへの嫌がらせに同性愛者が団結して反抗）以降、同性愛者の権利獲得運動は全国的に展開された。しかし保守的な田舎町では同性愛は依然としてタブーであったが 80 年代に入ると、性的嗜好の多様性に寛容な人々もでてきた。
使用言語	英語
テーマ	男性同性愛の純愛と葛藤、周囲の偏見と暴力。
みどころ	美しいブロックバック・マウンテンで生まれたジャックとイニスの純愛、秘密の二人の関係とそれゆえの葛藤、同性愛に対する家族と世間の非難の目と暴力。
印象深いせりふ	ACK: Wonderin' if you was needin' any help this summer? JOE Aguirre: Wastin' your time here. JACK: You ain't got nothin'? JOE Aguirre: I ain't got no work for you. . . . You boys sure found a way to make the time pass up there. ENNIS: I come by to say that if you want me to take his ashes up there on Brokeback like his wife said he wanted, I'd be proud to. JOHN TWIST: Tell you what. I know where Brokeback Mountain is. He thought he was too goddamn special to be buried in the family plot.
授業教材用 メリット	美しく同時にワイルドな自然、60 年代アメリカカウボーイの牧場生活やロデオが見られる、純粋な愛情、憎悪、偏見の存在と共存を考えさせる。人間の愛に垣根はないことを知る。
授業教材用 デメリット	ゲイ問題について意見を言いたくない場合もありうる。
映像入手元	ジェネオン エンタテインメント (Blu-ray/ DVD)
原作の有無	E・アニー・プルー
支持反応	metacritic 評価（批評家 87、観客 7.7） Rotten Tomatoes 評価（批評家 87、観客 82）
キーワード	ワイオミング、カウボーイ、ゲイ、同性愛、差別、偏見、カウンターカルチャー、タブー、友情、暴力、ブロークバック・マウンテン。

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。